滿洲日報
第三種郵便物認可

"數十年にも似たる 在任の一年五ケ月"

凱旋の途についた菱刈將軍 在滿人へ惜別の辭

三十日、盛大な日滿官民の歡送裡に、一路母國へ凱旋の途についた菱刈大將は、記者團の手を通じて"離滿の辭"を送り在滿人に惜別の感懷を披瀝した

此度、不肖菱刈は轉職の大命を拜し、この滿洲の地を離れることになりました

顧みれば、昨昭和八年八月着任以來、滿一年五ケ月の間、全滿の皆樣に一方ならず御世話になりました、此間私に對し、各方面の方々がお寄せ下さいました御芳志に對しましては、深く感謝の意を表します。僅々一年五ケ月といふ歲月は、之を天地の悠久に較べますれば素よりのこと、夢の如き人生の一齣と致しましても、決して長いものではありません、併し乍らこの一年五ケ月はさながら何十年かの長い期間であつたかの樣にも想はれるのであります、一河の流一樹の蔭と申しますか、只今皆樣とお別れいたしますことは、恰も何十年かの辱知と袂を分つにも似て、惜別の情うたた禁じ難いものがあります。

今や滿洲國は、建設の途上に躍進を續け、略々治安の恢復を見ました事は申す迄もなく、政治經濟上の諸工作も順調に進展し帝制確立後既に十閱月となり、近くは由來難しとされた地方制度の改革も實施せられまして國礎益々鞏く、其前途は實に洋々たるものがあります、殊に本年六月御名代として秩父宮殿下御差遣の御事がありまして以來、日滿兩國の和親は一段緊密となり、兩國依歸の關係がいやか上にも明徵となりましたことは誠に御同慶に堪へませぬ。併し乍ら之を以て大業成れりと安堵いたしますことは、決して妥當ではありませぬ、否、考へ樣に依りましては、現況は僅に建設の基礎工作を畢つたに止まり、大業竣成への彼岸に到達する爲の大工作は寧ろ今後に殘されてゐると觀るべきであります、卽ち滿洲國の絢爛時代は將來に約束されてゐるのでありまして、今後に來るべき幾多の難關變局を突破してこそ初めて實現するものと信じて疑ひませぬ。

想うて此處に到りますと、私は爲すべかりし事の如何にも多かつたに拘らず、爲し來つたことの餘りに尠かつたのを今更乍ら痛感いたすのでありまして洵に汗顏に堪へぬ次第であります。

併し乍ら私は雄心勃々たる皆樣が、日滿合作の堅き信念を基調として、聖業恢弘の大旆の下に一路勇往邁進せられ、必ずや大業成就の目的を完成せられる日の參りますことを深く確信致しますと共に一方、滿蒙建設の人柱として忠死せられた幾多戰友同胞の英靈に對し、最後の默禱を捧げつゝ此地を離れんとするものであります。

終りに臨みまして、在滿一年五ケ月間に賜りました皆樣の御交誼に對し改めて再び感謝の意を表しますると共に、嚴冬に向ひます折柄、皆樣の御自重と御自愛とを熱願して已みませぬ。

"現有勢力半減の用意"

華府條約廢棄通告文手交後 齋藤大使 聲明書發表

【ワシントン二十九日發國通】齋藤駐米大使は二十九日正午ハル國務長官にワシントン海軍條約廢棄通告文を手交した後、直に大要左の如き聲明書を發表した

日本政府は本日ワシントン條約第二十三條の規定に基き同條約廢止の意向を通告したが而も日本政府はこれに代るべき協定の締結を衷心より希望して既に行動を開始した、吾人はワシントン條約に規定された强大にして浪費的な軍艦の廢止を提案し而も吾人は現有勢力を半減する用意があり本質的な軍備縮小を斷行して各國民を戰爭の不安から解放する事を衷心より希求して已まない、

吾人の提案は日本の海軍が一夜にして英米兩國の海軍と同等になる事を欲するものではなく日本は各國が海軍力の共通最大限設定に同意し各國が必要なる事態の命ずる儘に建艦し得る權限を留保せん事を希望するものである事を銘記すべきである、米國と極東諸國との間にはその何れとも未だ曾て一度も武力による重大な衝突が生じた事なく、又ハル米國々務長官と我廣田外務大臣とが既に前に同意した如く米國と日本との間に

ハル長官の返翰公文

【ワシントン二十九日發國通】齋藤大使の海軍條約廢棄通告文に對する返翰として ハル國務長官から齋藤大使へ交付せる公文を二十九日夜公表したがその全文左の如し

余は閣下の十二月二十九日附書翰を正に受領せる事を通報する光榮を有す右書翰は日本政府は一九二二年二月六日ワシントンに於て署名されたる海軍軍備制限條約を廢止する意思をアメリカ合衆國政府に通告する事及び從つて右條約が一九三六年十二月三十一日を以て効力を失ふ事を余に通報するものなり同條約の該當條項たる第二十三條に從ひ余は本日右通告の認承謄本を他の諸國に送致せんとし併せてこれ等諸國に右通告の受領日附を通報せんとす余は茲に閣下に向つて重ねて敬意を表するものなり

英國、打開方途摸索

山本代表の回答に失望しつゝ、更に兩代表會見か

【ロンドン二十九日發國通】英國側はその試案に對する山本代表の回答に失望したが尚打開の途を發見する意あり山本代表にもその意思を傳へた模樣で、或は部内で相談の上今一、二回、山本、チットフィルド兩代表の會見が行はれる可能性あり局面轉換の見込みがないでもない、但し米代表の留守中は英國も之に氣兼ねしてゐるから日英兩代表の會談も單に將來への準備程度のものに了るかも知れない、英國の新試案に對する日本の主たる反對は英國側の主張する共通最大限噸數百十七萬噸は必然日本の軍備擴張を意味するに至り日本として困ると云ふにある、只日本が英國の數字を拒否しつゝ自國の抱懷する最大限の數字を依然示さないのは此際餘り深入りすると卻て不利を招く惧れありとして警戒してゐるのではないかとも觀られる

通告認承謄本

【ワシントン二十九日發國通】二十九日正午齋藤大使より帝國政府の華府條約廢棄通告を受領したハル國務長官は華府條約第二十三條の規定に從ひ右通告書認承謄本を英、佛、伊三ケ國へ傳達した

……は外交的に解決し得ない問題は一つも存在しない、從つて余は互に疑惑を去り進んで新協定の締結に努力する事は日米兩國民の義務であると同時に又賢明なる一方策であると思ふ兩國政府が好戰論者の無責任な煽動的言辭を取締り友情とステーツマンシップ並に兩國民間の好意を銘記して余は常に希望に滿ち且つ樂觀的態度を持するものである事を茲に表明する

代るべき新條約の達成に努力を續く

華府條約廢棄通告に對する 英國官邊の意向

【ロンドン二十九日發國通】わが政府の華府條約廢棄通告に對する英國官邊の意向を綜合するに次ぎの如し

華府條約は假令軍縮に到達する唯一の成功の途ではないとしても最も有効な方法だつた、勿論日本が條約廢棄の正當な權利を有する事は議論ないが、英國は此の條約には大なる犧牲と努力を拂つて來た、且つ華府條約が軍縮問題に好影響を與へ締約諸國に對し莫大な軍費を節約せしめた事實は否定出來ぬ、英國政府としては飽まで之に代る新條約達成に出來る丈けの努力を續ける意圖を有する

米代表部一行 吉田大使と歸米

【ロンドン三十日發國通】米代表部一行及び歐米特派使節吉田大使同令孃は二十九日夜半サザンプトン出帆のワシントン號で一路米國に向つた

水先章程の實施

日本との折衝を重ねるため 再び無期延期さる

【上海三十日發國通】國民政府が内河航行權回收の第一着手として水先權を列國より回收するため嚢に暫行水先章程を制定實施せんとして列國の反對に遭ひ一時延期の形となつてゐたが國民政府では最近列國の反對を押切り來年一月一日より右章程を强行實施せんとするの態度を示し形勢は極めて緊張するに至つた、關係最も深き日本は事實に卽したる具體的對案を以て對抗し支那側案の法理的に又技術的に實施困難なるを指摘して反省を促して來たが支那側の强硬態度に鑑み今回有吉公使の南京行に際し外交部長汪精衞、同次長唐有王と會見の席上本問題を提議嚴然たる決意を示して支那側の反省を促すところあつた、之に對し汪精衞等は對內的關係より日本の同情的讓步を求め懇談を重ねたが結局更に折衝を重ねるため右章程の實施期を再び無期延期するに決した模樣である

新京行局員 三、四兩日赴任

關東州廳經理課では三十日から徹宵荷作りを行ひ最後の器具輸送を了るが新京行き局員百餘名はいづれも三日、四日それ〴〵赴任出發と決定し三十日用度係からそれ〴〵汽車賃の割引證（五割引）を交附した

新京轉出傭人 關東局へ

轉出の雇員以上は二十六日附を以つて百七十八名の發表を見た事は既報の如くであるが二十九日附を以つて更に傭人五十五名を發表された

此内十七名の經理課を筆頭に新京出張所の九名、高等警察の五名以下各係に一、二名宛で今回の機構改革で旅順から新京へ移住する舊關東廳員は總員二百八十四名である

因に當分の間州廳に勤務を命ぜられたる者及び業務關係上更に新京へ轉出する土木課の二十餘名を頭とする官吏は約五十餘名でこれも明春二三月頃赴任の豫定

治安確立まで出發を延期か

東邊道資源調査

【安東電話】まだ知りつくされない資源包藏地としての東邊道及企業フイルードとしての東邊道を仔細に調査研究すべく計畫された東邊道調査團も安東地方事務所の主催で既に全く準備成り續々と參加……

國債引受內容

【東京特電三十日發】北鐵讓渡に對する滿洲國債引受けシンヂケート銀行團の諒解內容は左の如きものと確聞する

一、北鐵讓渡價格 一億七千萬圓のうち銀行團の融通額は八千萬圓とす

一、第一回現金支拂の分に就いて若し公債發行が間に合はぬ場合は一時貸付金とす

一、公債の擔保は北鐵の財產全部を以て充當す

なほ銀行團は右資金融通に就て遺漏なきを期し幹事銀行たる興銀に於て準備を進めてゐる

北鐵の正式調印

一月下旬か二月ごろ

【東京特電三十日發】北鐵讓渡の細目交渉は東亞局長とカズロフスキー代表の間に既に二、三回行はれ一月早々交渉を繼續……

第三インターの白色對抗

第二インターに秋波

コミンテルン大會の延期は 其準備工作のため

【ハルビン特電三十日發】第三インターの第七回コミンテルン大會は本年秋開催の豫定のところ明年上半期に延期されたので一九三五年の世界の社會主義運動は正月早々非常に活潑なるものと見られてゐる、コミンテルン大會延期の

原因 は第三インターが第二インターに對して共同戰線の秋波を送りその準備工作のため卽ち第三インターは世界革命の理想に失敗し已むを得ずソウエートの一國社會主義化に沒頭せざるを得ぬやうになり、更にドイツ、支那等に於ける有力な共產黨根據地が一掃されて當年の勢ひなく、又第二インターも歐洲各國のファシズム政權强化のため壓迫されてゐるので、この赤色、桃色の兩インターが白色ファシズム對抗の必要上自然歩み寄るに至つたものである

簡單 だが、第二インターの方は各國に散在して對立し內容も複雜なだけ一致は困難であり、殊に傳統的に勞働組合主義を奉じてゐる英國、オランダ、スカンヂナビヤ諸國の勞働黨や社會黨がこの兩インター提携に贊同する筈はない、結局ナチスに追はれたドイツの左黨、最近革命的情勢にあるスペイン、ソウエートと接近しつゝあるフランス、ベルギーの社會黨等がソウエートに接近することにならう、ただ第三インターは目的のためには手段を選ばず第二インター……

豫期 してゐるごとくソウエー……

倫敦のお父さんへ

年賀の文句を練る 山本全權の留守宅

世界平和のため日本進展のため目下倫敦にあつて活躍してゐる山本全權の青山の留守宅では夫人れい子（三）さんが義正（三）潤子（二）忠夫（八）の子供達を守つて夫君の雄々しい活躍を唯一の慰めとしてゐるが、義正君等兄妹たちはお父樣への年賀文に一生懸命、お父樣がお國のために働いておいでのことは新聞で毎日見ます。僕達も一生懸命に勉强してゐます」と書き出した「お父樣新年おめでたう御座います、【寫眞は向つて左から義正、正子、潤子さん達】

社說 歲晚の辭

歲末に際してこの一箇年間の大勢を回顧すれば、舊年以來未決の諸案件に加へて新たに重要なる諸問題起り、國際的にも內政的にも多事多端、總てが猶ほ所謂非常時の險相に色附けられて居る。併し之を前年に比すれば、何さなく建設的氣運の濃厚に萠芽したことを彷彿させる。

試みにその主なる各國の事故を概觀せんか、一月に於いて佛蘇通商條約成立し、二月白耳義皇帝アルベール一世不慮の崩御あり、三月伊、墺、匈三國政治經濟協定を見、八月ヒンデンブルヒ獨逸大統領の薨去は、次で同國元首の位置に就いたヒトラー氏をして、その抱懷するナチス政策を全國的に强化せしめた。而して最も天下の耳目を聳動させた出來事は、十月ユーゴー・スラヴイヤ國王陛下及び佛國外相バルツー氏の遭難である。之が爲に動搖常なきバルカン問題は遂に或は全國際紛議の因をなすなきやを憂へしめたが、復興の曙光發見に苦慮せる歐洲列國は相譽めて動かず、之が解決を法理的に求めた。以て國際心理の趨向を見るに足る。

◇

更に我國が立てる內外の情勢を通覽すれば、內政上の變遷は相當波瀾起伏の觀を呈し、第六十五議會を無事切拔けたる齋藤內閣は、二月鳩山文相の辭職に次で四月陸相の辭表提出するあり、强弩の末勢遂に大藏省事件の責任に耐へ得ず、七月遂に總辭職を決行して岡田內閣の出現を見るに至つた。而してこの前後における天災と人異とは絕えず民心の鼎沸を繰返させた。併し對外的には槪れ良好な傾向を散見せしめ、三月一日滿洲國皇帝陛下の御登極によつて、同國の獨立基礎益々鞏固を加ふると共に日滿間の楔子は愈々密接となり、ウルグワイ國との最惠通商條約締結、北鐵問題を挾んで日滿蘇間の交涉良化など、いづれも建設的意義を濃厚に表示したものと評し得る。又た經濟的方面に於ても昨年以來懸案たる日英印通商會議は、不十分ながら一月五日條約の成立を見、七月二日ロンドンに於ける正式調印を了した。次で提起された蘭領印度との交涉は未決中止の姿に在り、ブラジル憲法改正に本づく移民制限問題も、我邦に及ぼす利害は少なくないが、併し漸を以て善處の法を講ずるに於ては必ずしもこれ以上の惡化を來さゞるであらう。

◇

唯だ重要中の重要事は十月以來ロンドンに開催された軍縮豫備會商の經過だ。日本がこの問題に關して主張し來つた根本改正は、國を擧げて終始一貫、如何なる國難を排しても目的を達成せねばならぬ。之が爲に日本は歐洲大戰後、强國間に鐵則視されたワシントン會議、並にロンドン會議の束縛を一掃し、最も公正なる原則の下に世界平和の新基礎を策定すべく決心した。之に對して英米就中米國の對日感情は非常に昂奮し、二箇月餘に亙る會商は何等捗々しく進行せず、遂に行詰り狀態を以て無期延期を宣するに至つた。併し誠意に根ざす公論は如何なる反對の前にも屈すべきでない。飽まで豫定の道程を逐うてワシントン條約の廢棄は通告され、我が國の決心を天下に公示した。而して今後の形勢が如何に變轉するかは來年度に亙る大なる問題だ。

◇

唯この間に於いて當の英米諸强は姑らく措き、公平に日本の立場とその主張の眞諦とを靜觀する列國は、必ずやその心中啓發理解する所があらう。否な英米諸國と雖ども過去十五箇年間の國際事情に於ける非常に變化した原因經過現狀を否認する事は出來ない。殊に日本にありては國勢の進展によりて東洋平和に對する指導精神及責任感を增加した。新軍縮定義はこの指導力と責任とを維持强化せんとする日本の自衞問題であつて、斯く旋迷せる世界的建設氣運への適應方針である。この常識は日本が最近會商の當初より、國を擧つて豁達冷靜、理性の命ずる所に依つて動きつゝある理由だが、昭和九年最後の覺悟は、蓋しこの信念に向つて、一層緊張の念を失はぬ事であらう。

昭和九年まんがレヴュー

1 前任者のひげよりも新任者のひげの方が少し長くて厳めしくなつた 陸相の春
2 勇士厳寒の北満に兵匪と戦ふ時、都会は春ほがらかにさくら音頭のメロデーに酔ふ
2 私は若いオレヤカサンと歌ふいとう・はんにレッコク 満洲にやつてくる。
3 列国の視聴を集めつゝ満洲国御大典行はる
3 豆タクの奔流
3 エチオピヤ女王の王の東黒田嬢日く「あたしオカルじやないわ」
4 雨後の筍の如し、出たりアパートメント
5 日支対立はスポーツの領域にまで波及して
5 東郷元帥薨去
6 雨も洩らさぬまでに満洲の空を守る
6 百キロ放送
6 秩父宮殿下御来満御名代
7 北満地方又々水害
8 虫のゐる満洲リンゴがきらはれた
9 日本人はここにあり
10 大屯平野に展開せる満洲国大演習
11 リットン報告の事ふど空ぼけて英国産業視察団がやつて来た
11 盛に露満国境に防備、しかも支那米国と復交し欧洲四隣にウインクし北鉄問題も解決した、小ざかしきソウエト外交
12 在満機構の改革で関東庁員警官団の二位一體の旗風に今は音に聞えし大騒ぎもおびかぬ草もなし、関東州庁 極東大会解消す
12 南司令官満洲入り

男子南洞、女子瀧 スピードスケートの奉天選手權を獲得

【奉天電話】奉天體育協會主催十年度全奉天スピードスケート選手權大會は三十日午前九時より國際運動場リンクにおいて行はれたがこの日氣溫零下八度、風速五米、コンデイションも絕好、少年五百米より試合開始されたが、男子五千米において安達君は九分二五秒[illegible]南洞君は九分二九秒二で從來九分四三秒二の滿洲記錄を破り午後五時閉會、本年度奉天の選手權は男子南洞、女子瀧三七子孃と決定した、試合成績左の通り

▲少年五百米 一等 阿部 五三秒四
▲女子五百米 一等 瀧三七子 五五秒七
▲男子五百米 一等 河村泰男 四七秒四
▲少年五千米 一等 阿部豪 十分四九秒五
▲男子五千米 一等 安達和男 九分二五秒八
▲少年千五百米 一等 阿部豪 三分七秒二
▲男子千五百米 一等 河村泰男 二分三九秒フラクト
▲女子千五百米 一等 木谷妙子 三分一一秒八
▲一萬メートル 一等 安達和男(一九分五八秒二) 二等 南洞邦夫(二〇分二一秒〇) 三等 河村泰男(二一分一六秒八)
▲總得點 第一位 南洞邦夫 二一九點五〇三 第二位 安達和男 二二〇點二〇三 第三位 河村泰男 二二四點〇八二

女子 第一位 瀧三七子 一二〇點四〇三 第二位 簗瀨暢子 一二二點一〇〇 第三位 木谷妙子 一二二點八三三
なほ河村は五百メートルで四七秒四の滿洲新記錄を出した

バスと電車 延長運轉 卅一日滿電が

滿電では三十一日に限り左の如くバス及び電車の延長運轉を行ふ
△バス 聖德街線、譚家屯線、日本橋線(翌日午前零時迄)傅家庄線、星ケ浦線(午後十時迄)
△電車 午前一時まで

故安達博士に 白國政府が國葬の禮

【ヘーグ二十九日發國通】オランダ政府は故安達峰一郎博士に對し特に國葬の禮を執るべき旨を申出で未亡人は右好意を承諾したので葬儀はベルギー政府の手に依つて一月三日行はれる事に決定した、尙ほ二十九日オランダ皇后は侍從を御差遣未亡人を弔意された

遼陽に天然痘 接種を肯かぬため

【遼陽電話】遼陽附屬地昭和通り五十六番地ノ三居住井村淸助(五〇)は二十七日天然痘と確定、滿鐵醫院に收容された、同人は昨年三月秋田縣より來住せる者であるが八年には警察署で臨時種痘を二回、九年度にも三回も實施したに拘らず接種を肯じなかつたもので滿洲では邦人の罹病する者皆無であつた矢先、右患者の發生をみたものである

關東局定期昇級

關東局では二十六日附を以て下田檢察官以下四十五名の各高等官に對し定期昇級の辭令が下附された

安平縄製作 鮮農に奬勵

【營口電話】東亞勸業公司にては營口縣村にある鮮農の冬期作業の仕事として昨年は安平縄の製作を奬勵したが安平縄は製品不良であつたので今年は叺製造を營ましむべく內地に製叺機一千臺を注文した所先き程到着したのでこれを各戶に配給し冬季間の副業として大に奬勵を試みてゐる

ラヂオ 卅一日

忘年大衆演藝の夕 ◇全滿各局綜合プログラム

午後の部
五・〇〇(東京)アナウンサー座談會、司會者關屋五十二
六・三〇(東京)講演「歲晚の感」永田秀次郎
七・〇〇(東京)漫談「受取」井口靜波
七・二〇(大阪)漫談「朝から晚まで」浮世亭出羽助、八丈竹幸
七・三五(大阪)落語「道具屋」桂圓枝
八・〇〇(大阪)浪花節「紀の國屋文左衞門歸り船」梅中軒鶯童
九・〇〇(東京)移動實況「歲末街頭風景」放送自動車より中繼
一〇・〇〇(東京)歌謠曲(一)「千鳥むすめ」「大川ぶし」政子、一駒、彌生、喜美香(二)「ふたり旅」「長江の四季」「歎きの丘」渡邊光子(三)「白頭山節」「熊本甚句」「晴れて逢ふ夜は」小梅(四)「歎きのボレロ」外三曲藤山一郎(五)「戀の初秋」「椰子の葉蔭」「きぬた踊」小淸
一〇・五五(東京)管絃樂「除夜の音樂」東京ラヂオ・オーケストラ、指揮瀨戶口藤吉
一一・〇〇 ラヂオ風景「歲末街頭交錯曲」十景、演出大連市民座、指揮島田章、演出太田浩造、效果三宅康平
一一・五五 除夜の鐘(ハルビン(中央寺院より中繼(大連)攝津町常安寺より中繼

京城(JODK 九〇〇KC)

午前の部
一一・五〇 掛合落語「噺家の大晦日」柳亭燕路、柳家きぬ江、月の家圓鏡、桂鯛次郎、月の家鏡路

午後の部
五・〇〇 童話、大石運平
五・二五(全國中繼)講演「朝鮮に於ける歲末年始の諸行事に就て」加藤灌覺
一一・〇〇(東京・京都)「除夜の鐘」芝增上寺、花園妙心寺より中繼

哭くな青春(82)

三上於菟吉
吉邨二郎畫

事務所で(その十二)

野山は、事務所を出て、ドアに鍵をかけながら、紺色の帽子に、合服だけの、けい子を、今さらのやうに眺めた、
「君、外套を、室內に忘れやしないかい」
けい子は、恥しさうに肩をすぼめて、
「いゝえ、着て來なかつたのよ」
野山は、顔をふるやうにした。
彼には、着て來なかつたのか、着ることが出來ないのかゞ、すぐに了解出來たのだ。
彼は、藤山ビルを出ると、彼女をあかるい大通りの方へ、導いて行つた。
「―何處を見ても、みんな毛皮の奧さんや、お孃さんだ。その中にこの孃だけが、まあ、なんて綺

く、小さく、見えるのだらう。
野山は、かくしの中の、財布を考へてみた。彼は、濫費家でもなかつたが、可成り金使ひも、荒くない方でもなかつた。昨日から、交際が續いた後で、さう懷中が、あたたかくもなかつたけれど、何のつもりか、切りに自分に寄ひ寄つて來る、この小孃を、裸同然の身なりで、おくことが出來ない氣がして來た。
大通りへ出る少し手前に、婦人洋服店の大きな、明るい、窓があつた。時節柄毛皮や、新型洋服をつた人形がその窓の中から、行人に媚の目を、送りつづけてゐるのだつた。
野山は、その窓の前で、立ち止つて、けい子を顧みた。
「けい子さん、外套が欲しくはないかい?」
けい子は、突然、その言葉を聞くと、吃驚したやうに、瞳をみはつた。そして、默つて相手を見あげた。
「もし、欲しければ、外套を買つてあげようと思ふんだが――」
「まあ、外套を!」
けい子は、しなびたやうな瞬手を、打ち合せるやうにした。
「勿論、立派な毛皮なんか、買つてはあげられないよ。全然、豫定外の事なんだもの。惡いんでよければ――」
と、野山は、ひどく眞面目な顏で、小父か兄が、目下の女の子に對するやうに言つた。
「どんなのでも、結構ですわ。だけど、ここの店、高いことよ」
「幾らか高くても、いい店で買つた方が――」
野山は、こんな、みすぼらしい身なりの孃を、華やかな、店內につれ込むことが、きまり惡るかつたが、さうした小さな感情は直ぐに克服出來た。彼は、ひどくシークな顏をした女店員が出迎へて、笑顏を見せるのを、こちらは微笑もせず、はれ返すやうな調子で、ぶつきら棒に言つた。
「この人に、直ぐに着られる外套が欲しいのだが――」
女店員は、野山の後に、身を狹ばめるやうにして立つてゐる、さむざむしげな、いでたちの孃を、あからさまな眼で、見あげ見下ろすやうにした。
「わたくしの所では出來合は致しませんのですけれど、でも、何かお見つけ致しませう」
野山は、女店員が、けい子の貧弱な姿を、一目みて、ありありと輕蔑の色を現したのが癪にさわつた。けい子を、顧みて、
「どんなのでも欲しいのを選び給へ。何なら、出來合でなくてもいいのだ」
けい子は、悲しげに笑つて見せた。
「いいえ、どんなのでも、直ぐ着られるのが、いいいわ。安いんでいいんですのよ」
野山は、この孃が、何故もつと威張つた態度で、女店員に對さないのかと、いらだたしさを感じるのだつた。

聖上・御風氣に拜す

御代拜にて歲旦祭・元始祭

湯淺宮相の謹話

【東京三十日發國通】天皇陛下には去る廿八日より御風邪氣に拜せられましたので同日夕刻より側近に於いて御假床を奏請いたしましたところ既に昨日正午以後は御平熱となり御氣先も頗る御良好に伺ひ奉るのでありますが、尙御靜養を願ふため四方拜、新年拜賀、晴れの御膳、新年宴會等の御儀の御取止めを奏請いたしました、歲旦祭、元始祭は御代拜を以て行はせらるゝやう承ります、四日の政始につきましては宮內大臣において今後の御模樣を拜したる上御裁定を仰ぐ豫定であります

菱刈・岡村兩將軍 輝く凱旋の途に

歲晚の多忙も何のその……と 埠頭に溢るゝ歡送群

赫々たる武勳を輝かす前關東軍司令官菱刈大將、同參謀副長岡村少將が凱旋の日、三十日は朝來曇り空ではあるが日射しは冬を忘れたかの如く溫暖、また一路の平穩祈るが如く波は靜かに、巨艦扶桑丸は滿船飾に喜び滿ちてゐる

思へば 菱刈將軍は昨昭和八年八月着任以來滿一年五ケ月、滿洲國生育の一[illegible]した明朗闊達の將軍、また岡村將軍は着任以來よく二代の軍司令官を輔け關東軍の樞機に參畫すること二年有半、皇軍の武威を中外に宣揚せる熱河聖戰を初めとし滿洲國の治安工作に粉骨碎身した鬼將軍

この輝かしき二大將軍を送らんとする大連市民は歲末の慌しさも餘所に續々と埠頭岸壁に集ひ大連埠頭は熱狂の歡送陣に空前の大混雜を呈した、斯くて定刻十時ドラの音に盡きぬ名殘を惜む兩將軍を乘せたうすりい丸は歡送陣より湧き上がる歡聲と小旗の波に包まれつゝ一路母國に向つて凱旋の途についた

″身體を大切に″

握手を受けた紅一點

菱刈將軍から——

三十日午前十時出帆の扶桑丸で凱旋した菱刈岡村兩將軍を歡送する船の中で知名士の中に交つて菱刈將軍より特に握手を求められ「體を大切にするやう」と有難うと禮をいはれそして心から有難うと禮をいはれ人目を惹いた一女性があつたこの女性は本年三月以來、新京の官邸にあつて將軍の爲朝夕身の廻りの世話をした浦ハツ(二〇)さんである、この日ハツさんは將軍を送るべく三十日朝七時二十分着列車で新京より來連サロンで菱刈將軍と挨拶を交した後、將軍の立てる上甲板と向合せに集まつた滿洲國大官の中に交つて將軍の乘船が見えなくなるまで見送り、十ケ月の側近生活に深い感銘を受け、今あらためて味ふ主從哀別の情一入と見えた

船が見えなくなつて漸く去らうとするハツさんは記者に

主人を送つたゞけです

と答へたのみで同日正午發はとで新京へ歸つた(寫眞は浦さん)

滿洲國皇帝聖旨を賜ふ

官民有力者と歡送惜別の乾盃

これよりさき滿洲へ愈よ最後の訣別を告げることになつた菱刈岡村兩將軍は三十日午前九時二十分宿舍の星乃家を自動車で出發、途中嚴重な警戒の中を埠頭に到着、奧村運輸部出張所長の案內で一先づ待合所內の貴賓室に小憩、見送りの旅大及び新京の知名士と挨拶を交した

この日 兩將軍を送らんとする旅大の官民は林、八田滿鐵正副總裁を初め山內電々總裁、岩井、長谷部兩少將、大場關東州廳長官、日下司政部長、岡野大連市長代理、田中要塞司令官、濱田要港部司令官、久保田要港部參謀長、新京よりは西尾關東軍參謀長以下關東軍幕僚多數、谷參事官、滿洲國より袁參議、張軍政部大臣、遠藤總務廳長等が見え、實に百七十有餘名の知名士の顔が並ぶ

同九時四十分兩將軍はブリッヂを渡つて乘船直に特別室で兩將軍の滿洲國に盡した甚大の功績に對し

滿洲國 皇帝より御差遣の石丸侍從武官から聖旨の傳達を受け、サロンで官民有力者とシャンペンを拔いて乾盃をなし、別項の如く記者團を通じて離滿の言葉を殘し上甲板に現れた

滿洲國皇帝 煙草御下賜

皇軍各部隊に

【奉天電話】滿洲國皇帝陛下には酷寒迫る中に友邦の誼を盡して鋭意國內の治安肅淸維持に努力して居る皇軍各部隊に對し、御慰問の御思召を以てこの度國花御紋章附の煙草を御下賜遊ばされた

二萬の群衆

熱狂の歡送陣

この日 兩將軍を送らんとする官民有力者、一般市民、學生團體、果ては遠く新京より來た人は早くも午前九時頃には埠頭岸壁を埋め盡しその數實に二萬を算し、手に〳〵小旗を持つて歡送陣は空前の混雜の中に色彩鮮かな軍國模樣を描く、鐵道工場の奏する勇壯なブラスバンド裡に兩將軍がブリッヂを渡ればドッと湧く歡聲に如何にも嬉しさうに菱刈將軍は敬禮しては帽子を脫り、帽子を冠つては敬禮をなし歡送陣の小學生に應へる有樣は明朗將軍本來の姿だ續く岡村將軍は謹嚴に擧手の禮を以て靜かに答禮を繰り返してサロンに消えた、官民有力者と乾盃を濟ました

兩將軍 が再び同九時五十分上甲板に姿を現すや期せずして歡送陣から起きる萬歲の聲、正十時扶桑丸が靜かに岸壁を離れるや怒濤の如く歡聲は舉がり日の丸の小旗は波濤の如く揺れる、盡きぬ思ひを破られた兩將軍、菱刈大將は右手に帽子をとつて手を左右に振り〳〵別れを惜しみ、岡村少將は嚴然と擧手の禮を續ける、凱旋兩將軍を乘せた扶桑丸の艦影は輕く速やい全滿在住の人に惜まれつゝ兩將軍は斯くて凱旋した

張、袁兩氏北行

菱刈大將見送りの爲め來連中であつた滿洲國軍政部大臣張景惠並びに滿洲國參議袁金鎧の兩氏は三十日正午發はとにて北行した

元旦、刑務所へ

購買組合事件の玉城

公金數萬圓を橫領費消し在大連の關東廳職員に被害を及ぼし當時世間を騷がした元關東廳職員購買組合大連支部主事玉城喜四郎(四七)にかゝる業務橫領、公文書僞造行使事件は今夏上告棄却となり懲役二年の二審判決確定したに拘らず、爾來假病を使つて刑の執行延期願を提出、保釋の身を大連市三河町二番地の自宅に安閑と送つてゐた奇怪な行動を當局で知るところとなり、突如師走も押迫つた三十日午前旅順高等法院岡崎檢事より逮捕狀が發せられ、一月元旦から旅順刑務所で服役することゝなつたが、この皮肉な彼の運命に世人を驚かせてゐる

玉城の不正事件は昭和六年秋發覺し大連地方法院判官一同が被害者の立場に置かれた爲め刑訴の規定に基き公判審理に關與することが出來ず、一審公判から旅順高等法院判官の手で裁かれたといふ曰く付き事件で懲役二年の二審の判決を不服とし上告中のところ今夏上告棄却となり爾來病氣を理由に服役を肯ぜなかつたが、今回遂に假病の事實を發かれ

明くれば正月といふ師走三十一日朝大連署員護送の下に一先づ高等法院に送られ、いよ〳〵昭和十年元旦から獄舍の第一日を送ることゝなつたものである

トーキーになる 猛獸狩の壯擧

松竹キネマの撮影隊が參加

本社の手で全滿に上映

本社主催日滿聯合大猛獸狩はいよ〳〵壯擧の日切迫し、獵場並に根據地となる新站方面では諸般の準備に忙殺されてゐるが、本邦最初のこの壯擧に當つて松竹キネマ蒲田撮影所では貴重なる記錄映畫の撮影を計畫、本社と種々連絡協議の結果、いよ〳〵獵場において同時錄音にて全發聲の記錄映畫を製作することに決定、猪飼、藤田兩技師が今村ニュース部長指揮の下に現地に出張することになつた、今回の撮影に當つて松竹キネマでは猛獸狩は勿論拉濱、京圖兩線の風物をも併せて撮影し編輯、本邦最初の大ジャングル映畫をオールトーキーにて發表する計畫であるが、本社においても出來得る限りの應援をする筈で、猛獸の出廻り如何によつては想像以上の興味ある映畫が出來上るものと見られてゐる

松竹ニュース部の出張技師一行も本社狩獵團と共に正月三日新京出發、行動を全て共にするが右映畫は本社の手で全滿に紹介する筈である

ロシア少年

賊と格闘

傷にひるまず追跡

二十九日午後十一時ごろ市內三河町四番地洋雜貨商露人ラビット方の表玄關の錠を破り三十歲前後洋服姿の日本人怪盜が忍び込み婦人用蝦茶オーバー一着(時價百六十圓)を盜み、なほも金品物色中も の音に目を覺ました同家の長男ボリヨーユフ(一五)君が勇敢に賊に組みつき大格闘となつたが賊は少年の頭部を毆打微傷を與へ、ひるむ隙に若狹町方面へ逃げ出した、氣丈な少年ボリヨーユフ君は直に賊を追跡したが遂に暗夜のため見失ひその足で大連署に屆出た

耐寒自動車隊 壯途に就く

【奉天電話】滿洲醫大航空研究會學生耐寒自動車隊一行は小出中佐指揮のもとに同和自動車會社の提供せる二臺のトラックに分乘し三十日午前九時三角地帶の深夜走破の壯途に就き醫大前を出發直に奉天神社に參拜し、一路千代田通り大南門を經て遼陽街道を南下、同九時廿分頃一行は凍結した渾河を渡河中對岸一米手前の箇所で河中に落ち込んだが幸ひ淺かつたゝめ異狀なく、急行した同和自動車會社の救援自動車によつて修理豫定コースに向つて出發した

貴金屬專門

滿人泥棒捕る

二十九日午前二時頃沙河口署阿部刑事部長の指揮する刑事一隊は市外轉山屯の山中に住む山東省生れ張財華(一九)を逮捕して引あげたが同人は去る十八日沙河口署の非常線に引掛かり檢擧された貴金屬專門の怪盜劉福吉(一九)とは年來の友人で昭和六年、滿人窃盜團一味十六名の中に加はり劉と共に捕へられた事があつたが其後一本立ちとなり貴金屬專門に主として日本人住宅を荒して居たもので被害は相當の額に上る見込で

十一月上旬逮捕された一人二役の朝鮮人金應福及び前記劉福吉とこの張財華との貴金屬專門の犯人全部を年內に逮捕する事が出來たので沙河口署では重荷を下して居る

手提を盜まる

市內若狹町二四藤原カホル(二九)さんは三十日午後一時頃市內浪速町幾久屋デパート三階で買物をすべくハンドバッグを傍に置いたところ十二、三歲の滿人少年がいきなりそのハンドバッグを掠ひ脫兎の如く逃走してしまつた屆出により大連署で犯人嚴探中

中村德子さん

本社編輯局總務中村猛夫氏四女德子さん(一ツ)はかねてより百日咳にて大連醫院に入院加療中のところ二十九日肺炎を併發し午後十一時五十分死去した

天氣予報

(三十一日) 北の風曇り 雪模樣

各地溫度 (三十日午前十一時)

大連 二 奉天 零下七
旅順 三 新京 零下一三
營口 零下五 新義州 零下二
哈爾濱 零下一六

【寫眞說明】(右上)凱旋の菱刈、岡村兩將軍 扶桑丸甲板にて (左上)市民の歡送 (中)滿洲國皇帝陛下の聖旨を拜受する兩將軍 (下)船中に於ける乾杯

由比正雪 (133)

悟道軒圓玉演
武田一路畫

二人の兇漢

大阪落城の際家康公は孫の千姫を救ひ出す者あれば嫁にいたして其上加増を與へると云つた大層の懸賞附き。千姫は當時秀頼公の御籠中です。此時石見濱田に於て二萬石を領する坂崎出羽守は千姫を救ひ出せば將軍家の婿と呼ばれ加之莫大の加増を受ける。殊に千姫は頗る附きの美人救ひ出さんものと慾と色との二道かけて猛火を冒して漸く救助したが、千姫は其折りの大火傷に醜き顔となつた出羽守を嫌ひ、渠が妻になる事なれば自害すると言ふ。

是には流石の家康も困つて、三萬石加増するから千姫のことは思ひ切れと出羽守を説いたが頑として肯き入れぬ。

其内に千姫は播州姫路の城主本多中務大輔忠刻の許へ再縁する事になつた。之を聞いて出羽守は婚禮の當日千姫を奪ひ、一夜たり共妻にせずば武士道が立たぬと大いに怒つた。それを和める爲めに柳生が坂崎の邸宅に來て種々と説いたが肯入れぬ。それで此の出羽守を斬つて此の事件を治めた。

併し出羽守には氣の毒であるから邸内にその靈を慰める爲め社を建立して祀り、且又出羽守の定紋二蓋笠を柳生家の紋に致した。

それで前に申した通り定紋は抱稻に向ひ鶴、又伊豆守は三つ反り扇の紋、それも闇くしてあるから彼は柳生の紋同樣に見える、殊に今宵は月が雲に掩はれてゐるために、確然と紋を見定める事が出來ない、況して年齢も相似して姿も克く似てゐる。スルト、

「伊豆守様。」

と仙臺侯の家來が後から呼んだ。

それを聞いて戸村丹三郎がパッと手裏劍を投げた。但し柳生を伊豆守と思つた。

空を切つて飛び來る小柄、飛騨守は攘へし扇子にてピシーリと此の小柄を打落した。同時にドドーンと響き渡る銃聲。金井半兵衛が發した彈丸は飛騨守の後に居た伊豆守の袂を貫いて外れた。

「曲者ッ」

と飛騨守は叫んだ。これを聞いて仙臺侯の家臣が押取刀でバラ／＼と庭に飛び下りた。

仕損じたりと戸村丹三郎に金井半兵衛、[illegible]仙臺侯の築地塀を乗り越えてお濱御殿に入り、それより岸に繋ぎし小船にヒラリと乗り移つた。此船には正雪もゐる。船を操るは清水入藏、

「それ行けッ」

と艪を押し濤を劈いて品川の海岸を指して急ぐ。

仙臺侯の家臣は曲者を取逃がすなとこれ亦船に乗じて海へ出たが折しも空掻き曇り月の光を掩ひ、ドッと吹き來る風に濤高く、殊に降り出した雨は車軸を流すが如くそれが爲に先途を見切る事が成らず、終に兇漢を取逃がして空しく引返した。

此時に柳生飛騨守が

「捨て置け／＼、近き内に彼等を捕へる事もあらう。併し此の邸内に忍び入り小柄を飛ばし、又發砲いたしたはさても剛膽不敵、自分は他人に怨みを受ける覺えは無きがさりとは憎き奴、伊豆殿お怪我はなさらぬか。」

と問はれて伊豆守が、

「幸ひ何等の異狀もござらぬ。察するに大阪の殘黨ならずば肥前原山の城に籠りし切支丹宗門の徒が予を怨み、爲めに發砲致した事と思ふ。抑も彼等は稀代の愚者でござる。」

と言つて笑つたが、見ると、右の袖が裂けてゐる。彈丸は袖を貫いて廣間の床柱に中つてゐる。仙臺中將忠宗侯を初めとして、一同伊豆守と飛騨守の無事を祝したが、夜明を待つて來賓は引取る。併し斯んな危險な月見は前代未聞と云ふ。

柳生は自分の打落した小柄を檢べると、それには猛烈なる毒が塗つてあり、俗にこれを鶍付の手裏劍と云ふ。

それを證據として町奉行の石谷左近將監は四方に手を伸ばして此の兇漢の何者なるかを檢べる事にした。

こちらは由比正雪、金井半兵衛、戸村丹三郎です、品川の海岸まで船を漕ぎ寄せたが、これへ上陸するは危險と此の船を羽田まで進めて是より上陸して牛込榎町の邸宅に戻つた。

社説 歳晩の辭

歳末に際してこの一箇年間の大勢を回顧すれば、舊年以來未決の諸案件に加へて新たに重要なる諸問題起り、國際的にも內政的にも多事多端、總てが猶ほ所謂非常時の險相に色附けられて居る。併し之を前年に比すれば、何さなく建設的氣運の濃厚に萌芽したことを彷彿させる。試みにその主なる各國の事故を概觀せんか、一月に於いて佛露通商條約成立し、二月白耳義皇帝アルベール一世不慮の崩御あり、三月伊、墺、匈三國政治經濟協定を見、八月ヒンデンブルヒ獨逸大統領の薨去は、次で同國元首の位置に就いたヒトラー氏をして、その抱懷するナチス政策を全國的に強化せしめた。而して最も天下の耳目を衝動させた出來事は、十月ユーゴー・スラヴィヤ國王陛下及び佛國外相バルツー氏の遭難である。之が爲に動搖常なきバルカン問題は遂に或は全國際紛議の因をなすなきやを憂へしめたが、復興の曙光發見に苦慮せる歐洲列國は相警めて動かず、之が解決を法理的に求めた。以て國際心理の權衡を見るに足る。

◇

更に我國が立てる內外の情勢を通覽すれば、內政上の變遷は相當波瀾起伏の觀を呈し、第六十五議會を無事切拔けたる齋藤內閣は、二月鳩山文相の辭職に次で四月陸相の辭表提出するあり、強弩の末勢遂に大藏省事件の責任に耐へ得ず、七月遂に總辭職を決行して岡田內閣の出現を見るに至つた。而してこの前後における天災と人異とは絶えず民心の鼎沸を繰返させた。併し對外的には概ね良好な傾向を散見せしめ、三月一日滿洲國皇帝陛下の御登極によつて、同國の獨立基礎益々鞏固を加ふると共に日滿間の楔子は愈々密接となり、滿洲親善使節の來朝、ウルグワイ國との最惠通商條約締結、北鐵問題を挾んで日滿蘇間の交渉良化など、いづれも建設的意義を濃厚に表示したものと許し得る。又た經濟的方面に於ても昨年以來懸案たる日英印通商會議は、不十分ながら一月五日條約の成立を見、七月二日ロンドンに於ける正式調印を了した。次で提起された蘭領印度との交渉は未決中止の姿に在り、ブラジル憲法改正に本づく移民制限問題も、我邦に及ぼす利害は少なくないが、併し漸を以て善處の法を講ずるに於ては必ずしもこれ以上の惡化を來さぬであらう。

◇

唯だ重要中の重要事は十月以來ロンドンに開催された軍縮豫備會商の經過だ。日本がこの問題に關して主張し來つた根本改正は、國を擧げて終始一貫、如何なる困難を排しても目的を達成せねばならぬ。之が爲に日本は歐洲大戰後、强國間に鐵則視されたワシントン會議、並にロンドン會議の束縛を一掃し、最も公正なる原則の下に世界平和の新基礎を策定すべく決心したのに對して英米就中米國の對日感情は非常に昂奮し、二箇月餘に亘る會商は何等捗々しく進行せず、遂に行詰り狀態を以て無期延期を宣するに至つた。併し誠意に根ざす公論は如何なる反對の前にも屈すべきでない。飽まで豫定の道程を遂うてワシントン條約の廢棄は通告され、我が國の決心を天下に公示した。而して今後の形勢が如何に變轉するかは來年度に亘る大なる問題だ。

◇

唯この間に於いて當の英米諸强は姑らく措き、公平に日本の立場とその主張の眞諦とを靜觀する列國は、必ずやその心中啓發理解する所があらう。否な英米諸國と雖ども過去十五箇年間の國際事情に於ける非常に變化した原因經過現狀を否認する事は出來ない。殊に日本にありては國勢の進展によりて東洋平和に對する指導精神及責任感を增加した。新軍縮定義はこの指導力と責任とを、維持強化せんとする日本の自衛問題であつて、前來機運せる世界的建設氣運への適應方針である。この常義は日本が最近會商の當初より、國を擧つて靜達冷靜、理性の命ずる所に依つて動きつゝある理由だが、昭和九年最後の電信は、蓋しこの信念に向つて、一層緊張の念を失はぬ事であらう。

頼母子講會の…徹底的淨化を期待

全奉天講員大會の救濟要請 識者間では白眼視

【奉天電話】頼母子講の休講續出は歳末商店街にも重大な影響を與へてゐるが頼母子講聯合會では二十九日夜公會堂で全奉天頼母子講講員大會を開き當局の

救濟を 要請するの決議をなし各要路に陳情したが、この聯合會の運動に對し識者は講の破綻は要するに高利貸、不正講長等不純分子の介在によるものであつてその手段の惡辣さは目に餘るものあり、これに對し救濟案を講ずるが如きは言語道斷であるとし極めて冷淡な態度を持し一派の運動を白眼視してゐる卽ち眞に財界の不安を解消し頼母子講の

更生を 希求するならば先づ講長をはじめ講員は率先して自己の關係せる講の自力更生を圖るべきである、今後講員としての資格なきものはこれを整理除外し、これによつて蒙る損失は頼母子講の相互扶助の見地より各講員が按分負擔し以て健全なる分子のみで復興するが唯一の解決策であつて徒らに自己の不始末を官廳の力によつて糊塗せんとするが如きは唾棄すべき行爲である、講長等がこの點に自覺し自力更生を策するに非ざれば到底立直りは期し得べくもない、所謂

頼母子 講聯合會なるものは一部講長や高利貸が徒らに對外的に聲を大にして當局の救助を待つために結成した名のみの團體でその間不純な動機が介在してゐる、かゝる組成分子によつて健全な復活を求めるが如きは全く木によつて魚を求める類で到底期待し得べくもない、この運動あるがため各講員等今に當局の救濟の手を差し伸べられんとの空しい期待を抱かしめ、他力本願の念を增長せしむるに過ぎず、これがため講は時日の遷延と共にますく

窮境に 陷りつゝあり、この會の動きは徒らに講界を攪亂するのみで百害あつて一利なく又當局よりこれら講員に對し巨額の國帑を費し救濟するが如き對策に出づるは全く期待し得べくもない、講員は速に自力更生を策することが殘された唯一の活路で遷延すればそれだけ收拾し能はざる混亂狀態を呈するであらう——さなしてゐるこれがためには當局の積極的干涉を期待する向きさへあり、更に一部では財界

有力者 が蹶起して整理委員會を設け公平な第三者の立場より根本的メスを揮ふより外講を軌道に乘せることは不可能なりとの意見を抱くものもある

男子南洞、女子瀧

スピードスケートの 奉天選手權を獲得

【奉天電話】奉天體育協會主催十年度全奉天スピードスケート選手權大會は三十日午前九時より國際運動場リンクにおいて行はれたがこの日氣溫零下八度、風速五米、コンディションも絶好、少年五百米より試合開始されたが、男子五千米において安達君は九分二五秒八で從來九分四三秒二の滿洲記錄を破り午後五時閉會、本年度奉天の選手權は男子南洞、女子瀧三七子孃と決定した、試合成績左の通り

▲少年五百米 一等 阿部 五三秒四
▲女子五百米 一等 瀧三七子 五五秒七
▲男子五百米 一等 河村泰男 四七秒四
▲少年五千米 一等 阿部豪 十分四九秒五
▲男子五千米 一等 安達和男 九分二五秒八
▲少年千五百米 一等 阿部豪 三分七秒二
▲男子千五百米 一等 河村泰男 二分三九秒フラクト
▲女子千五百米 一等 木谷妙子 三分一一秒八
▲一萬メートル 一等 安達和男(一九分五八秒二) 二等 南洞邦夫(二〇分二一秒〇) 三等 河村泰男(二一分一六秒八)
▲總得點 第一位 南洞邦夫 二一九點五 第二位 安達和男 二二〇點二 第三位 河村泰男 二二四點〇
女子 第一位 瀧三七子 第二位 簗瀬暢子 第三位 木谷妙子

なほ河村は五百メートル四七秒四の滿洲新記錄を出した

遼陽に天然痘

接種を肯かぬため

【遼陽電話】遼陽附屬地昭和通り五十六番地ノ三居住井村清助(三〇)は二十七日天然痘と確定、滿鐵醫院に收容された、同人は昨年三月秋田縣より來任せる者であるが八年には警察署で臨時種痘を二回、九年度にも三回も實施したに拘らず接種を肯じなかつたもので滿洲では邦人の罹病する者皆無であつた矢先、右患者の發生をみたものである

米海軍大演習

東太平洋全海洋に及び 明年五月より六月十日迄

【サンペトロ二十九日發國通】米海軍は明年五月三日より六月十日の一ケ月餘に亘り東太平洋の全海洋に及ぶ區域に於て參加兵力艦艇七十七隻、航空機四百七十七臺米の自慢の巨人水上機八十五臺と云ふ未曾有の大演習を行ふに決定し其の旨二十九日リーヴ艦隊司令官より發表された

故安達博士に

白國政府が國葬の禮

【ヘーグ二十九日發國通】オランダ政府は故安達峰一郎博士に對し特に國葬の禮を執るべき旨を申出で未亡人は右好意を承諾したので葬儀はベルギー政府の手に依つて一月三日行はれる事に決定した、尙ほ二十九日オランダ皇后は侍從を御差遣未亡人を弔意された

五千人收容出來る 奉天驛屋上待合所

愈よ卅日から開放

【奉天電話】奉天驛屋上待合所は愈々三十日から開放された、出札口で切符を求めたら大連、營口行方面はそのまゝ、撫順、新京、チチハル、吉林、熱河、山海關、安東方面行きのものは安奉待合室から階段を上つて屋上待合所に入る、上れば廣間に案內所と賣店が完備し、その奧は五千人も收容出來る大廣間で大禮堂を思はせる、一、二等待合室は別に特定されてある、列車出發前改札が始まると北側の寒風をさけるやうに第二、三、四ホーム共南側からホームに降りるやうになつてゐる、これが奉天にはこゝ二十六萬圓の總費で完成した東洋でも最初の待合室で從來のごとく旅客はホームで寒風にさらされて震へるやうなことはなく、旅客に非常に喜ばれてゐる【寫眞は屋上待合室の內部】

ラヂオ 卅一日

忘年大衆演藝の夕 ◇全滿各局綜合プログラム

午後の部

五・〇〇(東京)アナウンサー座談會、司會者關屋五十二
六・三〇(東京)講演「歳晩の感」永田秀次郎
七・〇〇(東京)漫談「受取」井口靜波
七・二〇(大阪)漫談「朝から晩まで」浮世亭出羽助、八丈竹幸
七・三五(大阪)落語「道具屋」桂圓枝
八・〇〇(大阪)浪花節「紀の國屋文左衛門歸り船」梅中軒鶯童
九・〇〇(東京)移動實況「歳末街頭風景」放送自動車より中繼
一〇・〇〇(東京)歌謠曲(一)「千鳥むすめ」「大川ぶし」政子、一駒、彌生、喜美香(二)「ふたり旅」「長江の四季」「歎きの丘」渡邊光子(三)「白頭山節」「熊本甚句」「晴れて逢ふ夜は」小梅(四)「歎きのボレロ」外三曲藤山一郎(五)「戀の初秋」「椰子の葉陰」「きぬた踊」小清
一〇・五五(東京)管絃樂「除夜の音樂」東京ラヂオ・オーケストラ、指揮瀬戸口藤吉
一一・〇〇 ラヂオ風景「歳末街頭交錯曲」十景、演出大連市民座、指揮島田章、演出太田浩造 效果三宅廉平
一一・五五 除夜の鐘(ハルビン)中央寺院より中繼(大連)攝津町常安寺より中繼

京城(JODK 九〇〇KC)

午前の部

一一・五〇 掛合落語「噺家の大晦日」柳亭燕路、柳家きぬ江、月の家圓鏡、桂鯛次郎、月の家鏡路

午後の部

五・〇〇 童話、大石運平
五・二五(全國中繼)講演「朝鮮に於ける歳末年始の諸行事に就て」加藤灌覺
一一・〇〇(東京・京都)「除夜の鐘」芝增上寺、花園妙心寺より中繼

奉天總領事館 明春增築

【奉天電話】奉天總領事館では事變以來廳舍の狹隘を感じてゐたので外務省に對しこれが增築を申請中の所本省より仁科建築技師來奉三十日午前九時半より蜂谷總領事村井領事等と協議の結果、五萬圓の豫算を以て明年解氷期に着工することになつた

バスと電車 延長運轉

卅一日滿電が

滿電では三十一日に限り左の如くバス及び電車の延長運轉を行ふ
△バス 聖德街線、譚家屯線、日本橋線(翌日午前零時迄)傅家庄線、星ケ浦線(午後十時迄)
△電車 午前一時まで

安平縄製作

鮮農に獎勵

【營口電話】東亞勸業公司にては營口農村にある鮮農の冬期間の仕事として昨年は安平縄の製作を獎勵したが安平縄は製品不良であつたので今年は叺製造を爲さしむべく內地に製叺機一千臺を注文した所先き程到着したのでこれを各戶に配給し冬季間の副業として大に獎勵を試みてゐる

關東局定期昇級

關東局では二十六日附を以て下田檢察官以下四十五名の各高等官に對し定期昇級の辭令が下附された

佐藤廣藏氏

埠頭事務所庶務案內係佐藤トキ氏嚴父廣藏氏(五九)は腎臟病で永らく療養中のところ三十日午前十時三十分自宅で死去した、葬儀は途中葬列をなし三十一日午後一時より市內天神町常安寺で執行する

哭くな青春 (82)

三上於菟吉
吉邨二郎畫

事務所で(その十一)

野山は、事務所を出て、ドアに鍵をかけながら、紺色の帽子に、合服だけの、けい子を、今さらのやうに眺めた、

「君、外套を、室內に忘れやしないかい」

けい子は、恥しさうに肩をすぼめて、

「いゝえ、着て來なかつたのよ」

野山は、頸をふるやうにした。

彼には、着て來なかつたのか、着ることが出來ないのかゞ、すぐに了解出來たのだ。

彼は、藤山ビルを出ると、彼女をあかるい大通りの方へ、導いて行つた。

——何處を見ても、みんな毛皮の奧さんや、お孃さんだ。その中にこの孃だけが、まあ、なんて細く、小さく、見えるのだらう。

野山は、かくしの中の、財布を考へてみた。彼は、濫費家でもなかつたが、可成り金使ひも、荒くない方でもなかつた。昨日から、交際が續いた後で、さう懷中が、あたたかくもなかつたけれど、何のつもりか、切りに自分に寄り寄つて來る、この小孃を、裸同然の身なりで、おくことが出來ない氣がして來た。

大通りへ出る少し手前に、婦人洋服店の大きな、明るい、窓があつた。時節柄毛皮や、新型洋服をまさつた人形がその窓の中から、行人に媚の目を、送りつづけてゐるのだつた。

野山は、その窓の前で、立ち止つて、けい子を顧みた。

「けい子さん、外套が欲しくはないかい?」

けい子は、突然、その言葉を聞くと、吃驚したやうに、瞳をみはつた。そして、默つて相手を見あげた。

「もし、欲しければ、外套を買つてあげようと思ふんだが——」

「まあ、外套を!」

けい子は、しなびたやうな兩手を、打ち合せるやうにした。

「勿論、立派な毛皮なんか、買つてはあげられないよ。全然、豫定外の事なんだもの。惡いんでよければ——」

と、野山は、ひどく眞面目な顏で、小父か兄が、目下の女の子に對するやうに言つた。

「どんなのでも、結構ですわ。だけど、ここの店、高いことよ」

「幾らか高くても、いい店で買つた方が——」

野山は、こんな、みすぼらしい身なりの孃を、華やかな、店內につれ込むことが、きまり惡るかつたが、さうした小さな感情は直ぐに克服出來た。彼は、ひどくシークな顏をした女店員が出迎へて、笑顏を見せるのを、こちらは微笑もせず、はね返すやうな調子で、ぶつきら棒に言つた。

「この人に、直ぐに着られる外套が欲しいのだが——」

女店員は、野山の後に、身を狹ばめるやうにして立つてゐる、さむくしげな、いでたちの孃を、あからさまな眼で、見あげ見下ろすやうにした。

「わたくしの所では出來合は致しませんのですけれど、でも、何かお見つけ致しませう」

野山は、女店員が、けい子の貧弱な姿を、一目みて、ありくさ輕蔑の色を現したのが癪にさわつた。けい子を、顧みて、

「どんなのでも欲しいのを選び給へ。何なら、出來合でなくてもいいのだ」

けい子は、悲しげに笑つて見せた。

「いいえ、どんなのでも、直ぐ着られるのが、いいわ。安いんでいいんですのよ」

野山は、この孃が、何故もつさ威張つた態度で、女店員に對さないのかと、いらだたしさを感じるのだつた。

古式床しく、けふ節折、大祓の御儀
宮中三殿で除夜祭

【東京三十日發國通】内外多事多端を極めた昭和九年も今日一日の三十一日正午天皇陛下には御小直衣の御束帶を召されて鳳凰間に出御、三條掌典長奉仕し和世荒世の御儀も古式床しき節折の儀を行はせられ次いで午後二時よりは岡田首相以下各廳勅奏任官總代參列賢所前庭において嚴かなる中に大祓の儀があり、更に午後五時半からは宮中三殿に於て三條掌典長以下掌典部員奉仕して嚴かに除夜祭が行はれる

菱刈・岡村兩將軍 輝く凱旋の途に
歲晩の多忙も何のその……と 埠頭に溢る、歡送群

赫々たる武勳を輝かす前關東軍司令官菱刈大將、同參謀副長岡村少將が凱旋の日、三十日は朝來曇り空ではあるが日射しは冬を忘れたかの如く温暖、また一路の平穩祈るが如く波は靜かに、巨艦扶桑丸は滿船飾に喜び滿ちてゐる

思へば 菱刈將軍は昨昭和八年八月着任以來滿一年五ケ月、滿洲國生育の一讓拜した明朗寬達の將軍、また岡村將軍は着任以來よく二代の軍司令官を輔け關東軍の樞機に參畫すること二年有半、皇軍の武威を中外に宣揚せる熱河聖戰を初めとし滿洲國の治安工作に粉骨碎身した鬼將軍

この輝 かしき二大將軍を送らんとする大連市民は歲末の慌しさも餘所に續々と埠頭岸壁に集ひ大連埠頭は熱狂の歡送陣に空前の大混雜を呈した、斯くて定刻十時ドラの音に盡きぬ名殘を惜む兩將軍を乘せたうすりい丸は歡送陣より湧き上がる喊聲と小旗の波に包まれつゝ一路母國に向つて凱旋の途についた

滿洲國皇帝聖旨を賜ふ
官民有力者と歡送惜別の乾盃

これよりさき滿洲へ愈よ最後の訣別を告げることになつた菱刈岡村兩將軍は三十日午前九時二十分宿舍の星乃家を自動車で出發、途中嚴重な警戒の中を埠頭に到着、奧村運輸部出張所長の案内で一先づ待合所内の貴賓室に小憩、見送りの旅大及び新京の知名士と挨拶を交した

この日 兩將軍を送らんとする旅大の官民は林、八田滿鐵正副總裁を初め山内電々總裁、岩井、長谷部兩少將、大場關東州廳長官、日下司政部長、岡野大連市長代理、田中要塞司令官、濱田要港部司令官、久保田要港部參謀長、新京よりは西尾關東軍參謀長以下關東軍幕僚多數、谷參事官、滿洲國より袁參議、張軍政部大臣、遠藤總務廳長等が見え、實に百七十有餘名の知名士の顏が並ぶ

同九時四十分兩將軍はブリッヂを渡つて乘船直に特別室で兩將軍の滿洲國に盡した甚大の功績に對し

滿洲國 皇帝より御差遣の石丸侍從武官から聖旨の傳達を受け、サロンで官民有力者とシヤンペンを拔いて乾盃をなし、別項の如く記者團を通じて離滿の言葉を殘し上甲板に現れた

滿洲國皇帝 煙草御下賜 皇軍各部隊に

【奉天電話】滿洲國皇帝陛下には酷寒迫る中に友邦の誼を盡して鋭意國内の治安肅清維持に努力して居る皇軍各部隊に對し、御軫念の御思召を以てこの度國花御紋章附の煙草を御下賜遊ばされた

二萬の群衆 熱狂の歡送陣

この日 兩將軍を送らんとする官民有力者、一般市民、學生團體、果ては遠く新京より來た人は早くも午前九時頃には埠頭岸壁を埋め盡しその數實に二萬を算し、手に〳〵小旗を持つて歡送陣は空前の混雜の中に色彩鮮かな軍國模樣を描く、鐵道工場の奏する勇壯なブラスバンド裡に兩將軍がブリッヂを渡ればドッと湧く歡聲如何にも嬉しそうに菱刈將軍は敬禮しては帽子を脱り、帽子を冠つては敬禮をなし歡送陣の小學生に應へる有樣は明朗將軍本來の姿だ續く岡村將軍は謹嚴に擧手の禮を以て靜かに答禮を繰り返してサロンに消えた、官民有力者と乾盃を濟ました

兩將軍 が再び同九時五十分上甲板に姿を現すや期せずして歡送陣から起きる萬歲の聲、正十時扶桑丸が靜かに岸壁を離れるや怒濤の如く喊聲は擧がり日の丸の小旗は波濤の如く振れる、盡きぬ思ひを破られた兩將軍、菱刈大將は右手に帽子をとつて手を左右に振り〳〵別れを惜しみ、岡村少將は嚴然と擧手の禮を續ける、凱旋兩將軍を乘せた扶桑丸の船脚は輕く速やい全滿在住の人に惜まれつゝ

“身體を大切に” 握手を受けた紅一點

菱刈將軍から

三十日午前十時出帆の扶桑丸で凱旋した菱刈岡村兩將軍を歡送する知名士の中に交つて船の中で菱刈將軍より特に握手を求められ「體を大切にするやう」と言はれて心から有難うと禮ないはれ人目を憩いた一女性があつた

この女性は本年三月以來、新京の官邸にあつて將軍の爲朝夕身の廻りの世話をした浦ハツ(二〇)さんである、この日ハツさんは將軍を送るべく三十日朝七時二十分着列車で新京より來連サロンで菱刈將軍と挨拶を交した後、將軍の立てる上甲板と向合せに集まつた滿洲國大官の中に交つて將軍の乘船が見えなくなるまで見送り、十ケ月の側近生活に深い感銘を受け、今あらためて味ふ主從哀別の情一入と見えた

船が見えなくなつて漸く去らうとするハツさんは記者に主人を送つたゞけですと答へたのみで同日正午發はとで新京へ歸つた(寫眞はハツさん)

張、袁兩氏北行

菱刈大將見送りの爲め來連中であつた滿洲國軍政部大臣張景惠並びに滿洲國參議袁金鎧の兩氏は三十日正午發はとにて北行した

元旦、刑務所へ
購買組合事件の玉城

公金數萬圓を横領費消し在大連の關東廳職員に被害を及ぼし當時世間を騷がした元關東廳職員購買組合大連支部主事玉城喜四郎(四)にかゝる業務横領、公文書僞造行使事件は今夏上告棄却となり懲役二年の二審判決確定したに拘らず、兩來假病を使つて刑の執行延期願を提出、保釋の身を大連市三河町二番地の自宅に安閑と送つてゐた奇怪な行動を當局で知るところとなり、突如師走も押迫つた三十日午前旅順高等法院岡檢察官より逮捕狀が發ぜられ、一月元旦から旅順刑務所で服役することゝなつたが、この皮肉な彼の運命に世人を驚かせてゐる

玉城の不正事件は昭和六年秋發覺し大連地方法院判官一同が被害者の立場に置かれた爲め刑訴の規定に基き一審公判から審理に關與することが出來ず、一審判決は旅順高等法院判官の手で裁かれたといふ曰く付き事件で懲役二年の二審の判決を不服とし上告中のところ今夏上告棄却となりが來病氣を理由に服役を肯ぜなかつたが、今回遂に假病の事實を發かれ

明くれば正月といふ師走三十一日朝大連署員護送の下に一先づ高等法院に送られ、いよ〳〵昭和十年元旦から獄舍の第一日を送ることゝなつたものである

トーキーになる 猛獸狩の壯擧
松竹キネマの撮影隊が參加
本社の手で全滿に上映

本社主催日滿聯合大猛獸狩はいよ〳〵壯擧の日切迫し、獵場並に根據地となる新站方面では諸般の準備に忙殺されてゐるが、本邦最初のこの壯擧に當つて松竹キネマ蒲田撮影所では貴重なる記錄映畫の撮影を計畫、本社と種々連絡協議の結果、いよ〳〵獵場において同時錄音にて全發聲の記錄映畫を製作することに決定、猪崎、藤田兩技師が今村ニュース部長指揮の下に現地に出張することになつた、今回の撮影に當つて松竹キネマでは猛獸狩は勿論拉濱、京圖兩線の風物をも併せて撮影し編輯、本邦最初の大ジャングル映畫をオールトーキーにて發表する計畫であるが、本社においても出來得る限りの應援をする筈で、猛獸の出廻り如何によつては想像以上の興味ある映畫が出來上るものと見られてゐる

松竹ニュース部の出張技師一行も本社狩獵團と共に正月三日新京出發、行動を全て共にするが右映畫は本社の手で全滿に紹介する筈である

ロシア少年 賊と格鬪
傷にひるまず追跡

二十九日午後十一時ごろ市内三河町四番地洋雜貨商露人ラビット方の表玄關の錠を破り三十歲前後洋服姿の日本人怪盜が忍び込み婦人用蝦茶オーバー一着(時價百六十圓)を盜み、なほも金品物色中も物音に目を覺ました同家の長男ボリヨーユフ(一七)君が勇敢に賊に組みつき大格鬪となつたが賊は少年の頭部を毆打微傷を與へ、ひるむ隙に若狹町方面へ逃げ出した、氣丈な少年ボリヨーユフ君は直に賊を追跡したが遂に暗夜のため見失ひその足で大連署に屆出た

耐寒自動車隊 壯途に就く

【奉天電話】滿洲醫大航空研究會學生耐寒自動車隊一行は小出中佐指揮のもとに同和自動車會社の貸與せる二臺のトラックに分乘し三十日午前九時三角地帶の深夜走破の壯途に就き醫大前を出發直に奉天神社に參拜し、一路千代田通り大南門を經て遼陽街道を南下、同九時廿分頃一行は凍結した渾河を渡河中對岸一米手前の箇所で河中に落ち込んだが幸ひ淺かつたゝめ異狀なく、急行した同和自動車會社の救援自動車によつて修理豫定コースに向つて出發した

貴金屬專門の 滿人泥棒捕る

二十九日午前二時頃沙河口署阿部刑事部長の指揮する刑事一隊は市外韓山屯の山中に住む山東省生れ張財華(二九)を逮捕して引あげたが同人は去る十八日沙河口署の非常線に引掛かり檢擧された貴金屬專門の怪盜劉福吉(二九)とは年來の友人で昭和六年、滿人竊盜團一味十六名の中に加はり劉と共に捕へられた事があつたが其後一本立ちとなり貴金屬專門に主として日本人住宅を荒して居たもので被害は相當の額に上る見込で十一月上旬逮捕された一人二役の朝鮮人金應喆及び前記劉福吉とこの張財華との貴金屬專門の犯人全部を年内に逮捕する事が出來たので沙河口署では重荷を下して居る

手提を盜まる

市内若狹町二四藤原カホル(二九)さんは三十日午後一時頃市内浪速町幾久屋デパート三階で買物をすべくハンドバツグを傍に置いたところ十二、三歲の滿人少年がいきなりそのハンドバツグを攫拂ひ脱兎の如く逃走してしまつた屆出により大連署で犯人嚴探中

中村徳子さん

本社編輯局總務中村猛夫氏四女徳子さん(一ツ)はかれてより百日咳にて大連醫院に入院加療中のところ二十九日肺炎を併發し午後十一時五十分死去した

【寫眞説明】(右上)凱旋の菱刈、岡村兩將軍 扶桑丸甲板にて (左上)市民の歡送 (中)滿洲國皇帝陛下の聖旨を拜受する兩將軍 (下)船中に於ける乾杯

天氣豫報
(三十一日)
北の風曇り 雪模樣

各地溫度(三十日午前十一時)

大連	二	奉天	零下七
旅順	三	新京	零下十三
營口	零下五	新義州	零下十二
哈爾濱	零下十六		

由比正雪 (133)

惜道軒圓玉演　武田一路畫

二人の兇漢

大阪落城の際家康公は孫の千姫を救ひ出す者あれば婿にいたして其上加増を與へると云つた大層の懸賞附き。千姫は當時秀頼公の御殿中です。此時石見濱田に於て二萬石を領する坂崎出羽守は千姫を救ひ出せば將軍家の婿と呼ばれ加之莫大の加増を受ける。殊に千姫は頗る附きの美人救ひ出さんものと慾と色との二道かけて猛火を冒して漸く救助したが、千姫は其折りの大火傷に醜き顔となつた出羽守を嫌ひ、渠が妻になる事なれば自害すると言ふ。

是には流石の家康も困つて、三萬石加増するから千姫のことは思ひ切れと出羽守を説いたが頑として肯き入れぬ。

其内に千姫は播州姫路の城主本多中務大輔忠刻の許へ再縁する事になつた。之を聞いて出羽守は婚禮の當日千姫を奪ひ、一夜たり共妻にせずば武士道が立たぬと大いに怒つた。それを和める爲めに柳生が坂崎の邸宅に来て種々と説いたが肯入れぬ。それで此の出羽守を斬つて此の事件を治めた。

併し出羽守には氣の毒であるから邸内にその靈を慰める爲め祉を建立して祀り、且又出羽守の定紋二蓋笠を柳生家の替紋に致した。

それで前に申した通り定紋は抱稲に向ひ雀、又伊豆守は三つ反り扇の紋、それも同じくしてあるから夜は柳生の紋同様に見える、殊に今宵は月が雲に掩はれてゐるために、確然と紋を見定める事が出来ない、況して年齢も相應して姿も克く似てゐる。スルト、

「伊豆守様。」

と仙臺侯の家来が後から呼んだ。

それを聞いて戸村丹三郎がバッと手裏劍を投げた。但し柳生を伊豆守と思つた。

空を切つて飛び来る小柄、飛騨守は擦へし扇子にてピシーリと此の小柄を打落した。同時にドドーンと響き渡る銃聲。金井半兵衛が發した彈丸は飛騨守の後に居た伊豆守の袂を貫いて外れた。

「曲者ッ」

と飛騨守は叫んだ。これを聞いて仙臺侯の家臣が押取刀でバラ〳〵と庭に飛び下りた。

仕損じたりと戸村丹三郎に金井半兵衛の両人は仙臺侯の築地塀を乗り越えてお濱御殿に入り、それより岸に繋ぎし小船にヒラリと乗り移つた。此船には正雪もゐる。船を操るは清水八藏、

「それ行けッ」

と艪を押し濵を劈いて品川の海岸を指して急ぐ。

仙臺侯の家臣は曲者を取逃がすなとこれ亦船に乗じて海へ出たが折しも空掻き曇り月の光を掩ひ、ドッと吹き来る風に浪高く、殊に降り出した雨は車軸を流すが如く、それが爲に先途を見切る事が成らず、終に兇漢を取逃がして空しく引返した。

此時に柳生飛騨守が

「捨て置け〳〵、近き内に彼等を捕へる事もあらう。併し此の邸内に忍び入り小柄を飛ばし、又發砲いたしたはさても剛膽不敵、自分は他人に怨みを受ける覺えは無きがさりとは憎き奴、伊豆殿お怪我はなさらぬか。」

と問はれて伊豆守が、

「幸ひ何等の異状もござらぬ。察するに大阪の殘黨ならずば肥前原山の城に籠りし切支丹宗門の徒が予を怨み、爲めに發砲致した事と思ふ。扨も彼等は稀代の愚者でござる。」

と言つて笑つたが、見ると、右の袖が裂けてゐる。彈丸は袖を貫いて廣間の床柱に中つてゐる。

一同伊豆守と飛騨守の無事を祝し仙臺中將忠宗侯を初めとして。たが、夜明を待つて來賓は引取る。併し斯んな危険な月見は前代未聞、柳生は自分の打落した小柄を檢べると、それには猛烈なる毒が塗つてあり、俗にこれを鰾付の手裏劍と云ふ。

それを證據として町奉行の石谷左近將監は四方に手を伸ばして此の兇漢の何者なるかを檢べる事にした。

こちらは由比正雪、金井半兵衛戸村丹三郎です、品川の海岸まで船を漕ぎ寄せたが、これへ上陸するは危険と此の船を羽田まで進め是より上陸して牛込榎町の邸宅に戻つた。